

平成 24 年第 3 回 国家戦略会議 議事要旨（抜粋）

（野田内閣総理大臣）

人材育成は、我が国の成長のかぎを握っております。今日は、民間議員の皆様から大変積極的な御提言をいただきましたが、この御提言に沿いまして、政府の取組みを進めていきたいと思っております。

その上で、4点指示をさせていただきます。

第1に、次世代の戦略的な育成は必要不可欠であります。六三三制等の学生の在り方も含めた教育体系の見直しや、大学の統廃合等の促進を含む高等教育改革について、潤達な議論が見られました。本日の議論を基に、社会構造の変化を踏まえた教育システムの改革に果敢に取り組み、平野大臣からは、5月の国家戦略会議に取組方針を御報告いただきたいと思っております。

第2に、中間層の厚みを確保するため、女性の活躍が不可欠であります。女性登用の見える化などの取組みを強化すべきであります。中川、古川両大臣を中心に、関係閣僚による女性の活躍を推進する会議を設け、6月までに重点課題を整理し、年内に工程表を策定してほしいと思っております。

第3に、我が国が世界の人材輩出国として成長を続けるため、最先端の研究開発基盤を有する拠点の形成など、古川大臣の下で革新的な技術開発等を担う人材の育成強化に向けた具体的な工程表を、6月を目途に明らかにしてほしいと思っております。

第4に、社会の活力の維持に加え、孤立化や貧困の連鎖を防ぐためにも、自立支援は重要であります。小宮山大臣の下で自立支援強化と国民目線に立った生活保護の見直しを含む生活支援戦略の骨格を5月の国家戦略会議に報告し、6月中に中間まとめをしていただきたいと思っております。

また、デフレは10年以上にわたる大きな課題でございます。デフレ脱却と経済活性化に向け、体系的に経済政策を構築するとともに、物価等の経済状況の点検を行うため、古川大臣を中心とする新たな会議を開催することとしたいと思っております。